

東海聖書神学塾

塾 報

2019 年 7 月

第 6 9 号

460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com

<http://tts.jpn.org>



「神学塾の役割に期待」

大須教会（日本同盟基督教団 名古屋福音伝道教会）牧師

東海聖書神学塾 教師

保 浦 宏 規

今年から理事会に入り、また秋からは開拓伝道学を担当させていただくこととなりました。よろしくお願いします。

これまで神学塾を外側から見ておりましたが、その存在は東海地域のキリスト教にとって、とても大きいと感じています。地域には神学塾の卒業生が多数いらっしゃいます。牧師はもちろん、信徒として教会を支えている方々もおられます。東海地域の伝道牧会に、大きく寄与してきたことがわかります。

東海聖書神学塾は、まさに東海地域にあり超教派です。その特徴から、これからも大きな役割を期待しています。

私たちの国は、人口の減少に伴い、あらゆる分野で構造改革が必至となっています。キリスト教会も全体として見ると、残念ながら教会員の減少と高齢化が現実です。これを消極的に考えるのではなく、積極的に対応を考える時だと思えます。

私は、これからの時代は教団教派による協力はもちろんですが、同じ地域にある教会の協力が重要になるように思っております。地域において、教団教派を超えて牧師の人材共有が必要になるかもしれません。教団教派を超えた信徒の協力も必要でしょう。また、教会員減少により、教団教派を超えた教会の合同も必要になるかもしれません。

塾生や卒業生は教団教派を超えた広がりをもっています。これからの時代、ますます神学塾が超教派の要の役割を担うことを期待しています。



卒塾式 3 月 15 日



入塾式 4 月 5 日

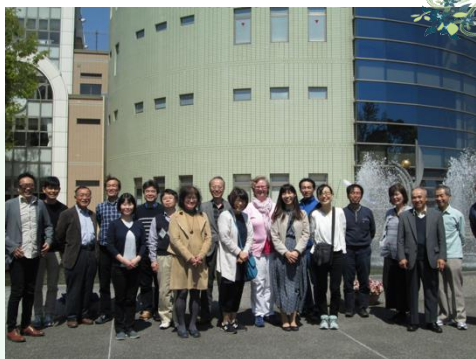
女性公開講座



2019年2月4日（月）開催の第34回女性公開講座は、活けるキリスト名古屋一麦教会を会場にして、鍛冶良子先生をお招きし、「女性を生きる」と題してのお話でした。先生は、幼い頃にお母様をご病気で亡くされた多感な思春期の時の体験、教会に導かれ神様に会った時の喜びをお証し下さり午後からは現在、牧師、伝道師、また女性、一信仰者としての歩みについての熱のこもったお話でした。先生は北海道の出身で今も札幌なのに関西弁でした。その温かいお人柄は以前から知り合いだったような感覚に包まれました。ありがとうございました。

基礎科1年 安田浩子（同盟福音 羽島教会）

春のリトリート



2019年4月7日（日）の夕刻から翌日の午後まで、木曽川沿いの「すいとびあ江南」で行いました。初日は多くの塾生OBの参加がありました。1日目は、塾生会長の司会で自己紹介をした後、河野勇一師により「良い奉仕者になるために」と題し、教会と協働し聖書を語り聖霊の鼓動によって奉仕する喜びについて学びました。2日目は、河野勇一師により「学ぶ者の誘惑」と題し、自己実現を捨て主に仕える使命に生きる喜びについて学び、その後、塾での奉仕分担等を話し合いました。午後は、マレーネ師の導きで「霊的涵養」の時を持ち、豊かな学びと交わりのできた2日間でした。

基礎科2年 山下 実（基督兄弟団 名古屋教会）

牧師先生方に朗報！！

神学塾の図書をご利用いただけるようになりました!!!



主の御名を心より賛美申し上げます。

皆様方には、日頃から主のお働きの一端を担われ、日々ご用に邁進されておりますことをお慶び申し上げます。

加えて、東海聖書神学塾のためにお祈りくださり感謝申し上げます。

さて、東海聖書神学塾は30数年の歴史を刻む中で、聖書研究と神学関係書を中心に3,500冊ほどの蔵書を抱えるまでに導かれてきました。私どもの祈りとして、この蔵書を神学塾の教師と塾生等関係者だけで利用するにとどまらず、広く東海地区の教役者の皆さまにもご活用いただけることを願ってまいりました。この度準備が整い皆様にご案内を差し上げるところまでこぎつけることが出来感謝です。

6月から毎月第4木曜日に月1回皆様にご利用いただけるようにいたしました。図書室の利用時間は午前10時～午後5時です。2019年は、7月25日、8月22日、9月26日、10月24日、11月28日、12月26日です。

ご利用にあたりまして、次の手順で進めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

1. 利用者登録：

- ① 同封の利用者登録申込書に必要事項をご記入いただき返送して下さい。
- ② (当方で)利用者登録名簿に登録させていただきます。
- ③ (当方より)利用者IDカードをお送りいたします。

申込書にメールアドレスをご記入いただいた方には、当方より、約3,500冊分の蔵書一覧を添付ファイルにて送信させていただきます。エクセルファイルですので検索機能を活用いただいて必要な図書をお探しいただくことが可能となります。

2. 図書利用 (塾で閲覧 and/or 貸出し) 貸出できない図書は神学塾の教室でお読みいただけます。

- ① IDカードを持参して東海聖書神学塾までお越しください。係がお待ち申し上げております。
- ② 教室で閲覧頂くこともできますし、貸し出すこともできます。その場で係が手続きをご案内申し上げます。
- ③ 貸出しは原則として2週間となっております。返却は、ご持参いただくか、郵送でお受けいたします。

蔵書には、高価な本、貴少本や説教集もありますので、このチャンスに是非登録を済ませて頂き、今後の皆様の手助けとなるよう願っております。皆様からのお申し込みをお待ち申し上げます。

なお、この件についてのお問い合わせは、教務主任の鴨下直樹(058-243-5798 芥見教会)、又は司書係の伊藤和人(090-1835-2994)までお電話下さい。

※ 本ページに、「利用者登録申込書」が印刷されています。住所、氏名等を記入いただき、署名の上、東海聖書神学塾まで郵送して下さい。これをもって、上記1-①の利用者登録手続きを進めさせていただきます。

①利用者登録

- (1) 図書利用開始案内郵送
- (2) ご本人から必要事項記入後の申込書を返送
- (3) 係で利用者登録 (係＝司書の伊藤：以下省略)
①利用者原簿に住所・氏名等記録(データベースにて)
②係で利用者IDカードを作成し、郵送にて発行

②来室利用

- (1) 本人確認
- (2) 図書利用開始
- (3) 図書貸出手続き開始
①図書貸出カード記入
②貸出カード・IDカードを司書係(伊藤)に提出
③期限厳守で貸出

③郵送貸出 (検討中です)

将来的に司書業務が円滑に進み、態勢が整い次第、郵送での貸出申込を受ける(その際、送料負担方法検討の要あり)

④返却

- (1) 来室して返却の場合 (毎月第4木曜日のみ)
①図書・IDカード提示
②図書貸出カードに返却チェック
③IDカード本人返却
- (2) 郵送で返却の場合
①郵送(送料本人負担)で東海聖書神学塾宛て返送(IDカードのコピーを同封してください)
②係で図書貸出カードに返却チェック



東海聖書神学塾図書資料利用登録書		
ふりがな		生年月日 昭・平 年 月 日
氏名		
住所		
電話番号	—	—
携帯番号	—	—
教団・教会、 団体名等		役職等： 教役者・神学生・ その他()

※本個人情報、は、図書資料利用(貸出、返却、督促等)にかかわる目的以外に使用することはありません。



行事報告

- 2月4日（月）、「第34回女性公開講座」が名古屋一麦教会を会場にして開かれました。講師は鍛冶良子師で「女性を生きる」というテーマで講演して下さいました。参加者は約90名。
- 3月15日（金）、理事会・評議会を開催し、その日の夜卒業式を持ちました。13名の卒業生を送り出すことができました。
- 3月18～19日（月～火）、すいとびあ江南において教師一泊研修会を持ちました。檀原久由先生と金原義信先生から発題がありました。
- 4月7～8日（日～月）、すいとびあ江南において春のリトリートを持ちました。河野勇一先生を講師にお迎えして、「神学塾の学びの心得」というテーマで学びの時を持ちました。参加者は25名でした。
- 4月29日（祝）、アイプラザ一宮で「第26回CS教師研修会」が開かれました。講師は山本陽一郎先生（同盟基督教団・多治見中央キリスト教会）、テーマは「賛美」、学びと小グループでのワークショップもありました。参加者は約130名。
- 5月21日（火）、中部福音主義神学会と共催という形で公開クラスを持ちました。講師は安黒務氏、テーマは「福音主義の視点から『キリスト教シオニズムの“土地・エルサレム・神殿”回復の教え』を分析・評価する」でした。出席者は約40名。
- 夏期教会実習（7月4日～7日）では、名古屋南福音自由教会（和田賢治牧師）、津豊ヶ丘教会（竹内誠牧師）、安城キリスト教会（檀原久由牧師）が塾生を迎えて実習の場を提供して下さいました。

（塾生主任・檀原久由）

教務報告

- 「収穫は多いが働き手が少ない。だから収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」マタイの福音書9章37、38節
- 今年度は教職志願者コース1名、信徒奉仕者コース8名、ベーシックコース2名、牧師夫人講座2名、聴講生14名、アドヴァンスコース11名の受講生が与えられています。感謝です。
- 東海聖書神学塾のホームページから入学の願書や聴講申込書がダウンロードできます。そちらをご利用ください。また、案内をご希望の方は塾にお問合せください。
- 東海聖書神学塾は随時、見学者を受け入れています。入塾前に授業光景を見てみたいという方は、神学塾にお問い合わせください。

（教務主任 鴨下直樹）

2020年度 塾生募集

- 東海聖書神学塾のコースは以下の5つです。
 - 教職志願者コース「牧師、宣教師等に召された人のため/週2、3日の学びで5年程」
 - 信徒奉仕者コース「信徒牧会者・信徒伝道者等のため」
 - * 週2日、昼または夜だけの学びの場合は4年程、昼夜の学びの場合は2年程で修了
 - ベーシックコース「教会の奉仕者のため/毎週の金曜日の学びで2年」
 - 牧師夫人講座「牧師や宣教師夫人だけのため」/隔週の金曜日の学びで2年
 - アドヴァンスコース「牧師や神学塾の卒業生のため/毎月一度月曜日の学びで1年単位」
 - * 入塾願書をご希望の方は、どうぞ郵便で当塾へご請求ください。{返信用の切手92円同封}
- ホームページからダウンロードしていただくこともできます。
- 当塾は教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。
- 2020年度の入塾説明会は 2020年1月17日（金）2時～ と5時半～
 - 同 入塾願書の締め切りは 2020年2月14日（金）必着
 - 同 入塾試験（筆記・面談）は 2020年3月6日（金）1時～ （全員）